

学校の教育力を高める校内研究・研修体制に関する提言 ～自らのキャリアステージに応じた学校経営への参画を促す研修の推進～

千葉県市原市立有秋東小学校 村上 博樹

I 現状と課題

1 現状認識

市原市は、豊かな自然と歴史的文化に恵まれており、農林漁業を基盤として発展してきたが、昭和30年代から始まった臨海工業地域の開発に伴い都市化が進展した。

市原市の小中学校は小学校41校、中学校22校の計63校あり、そのうち小中一貫教育校が1校である。

近年は、教職員の大量退職、大量採用の時代であり急速に世代交代が進行している。市原市内小学校の職員構成は、若年層とベテラン層のふたこぶ型である。今後、ベテラン層の退職とともに若年層化が進むことになる。

2 課題分析・アプローチの視点

組織的な学校運営をしていくためには、若年層への指導力の育成はもちろんのこと、世代交代が進む中でどの年代においても学校経営への参画意識を促していくかなくてはならない。

キャリアステージを「千葉県・千葉市教員等育成指標」に基づき、成長期・発展期・充実期ととらえ、市原市の小学校40校の校長にアンケートをとり各ステージ毎の具体的な研修の取り組み状況、成果と課題を把握し、教職員のキャリアステージに応じた学校経営への参画を促す研修についての分析を行った。

II 研究の概要

1 取組の視点

(1) 成長期の研修

どの学校においても成長期に対しての研修は充実してきている。

主に、児童の指導に関することが多く、具体的には授業研究、授業の進め方、教材研究の方法、学級経営、生徒指導、特別支援教育、教育相談、部活動指導、保護者対応、服務について等である。

(2) 発展期の研修

発展期では、教科や研修、教育課題、授業改善、業務改善、校務分掌の研修を行っている。また、成長期の研修の推進役や相談役、助言者として関わっているケースが多くあった。さらに、教科主任の授業を公開し参観してもらうなどの取り組みをしている。

(3) 充実期の研修

充実期で集まって研修会をすることはほとんど無く、成長期や発展期への師範授業や研修会の指導や助言、相談役として関わっていることが多い。

また、校務分掌などを成長期とペアにすることで、今まで蓄積してきた経験とノウハウを生かして実際に発生する問題をOJTに当たるケースが多い。

(4) その他の人材育成に関する研修

特に年齢層を区切らずに、学校独自に計画したり、

自主研修したりして取り組んでいる学校がある。

(5) 時間の確保に向けた取り組み

授業時数の増加に伴い、研修等の時間の確保のために、各学校において朝学習や休み時間の短縮やモジュール化など、いろいろな工夫をしている。

① S小学校 年度末に教育課程の見直しを行い、5時間日課の日は14:15下校、6時間日課の日は15:00

下校とし、授業時数を増やしつつすべての日の下校時刻を30分早めた。

② K小学校 U小学校 木曜日の午前中に5時間を実施、午後に6時間目を実施し、今までの5時間日課の日の下校時間と同じにした。

③ 部活動の期間の短縮や放課後練習を無しにし、朝練習のみにするなど部活動の削減をした。

III 成果と課題

1 成果

・成長期の研修を行うことで、成長期同士や発展期、充実期の層との人間関係がさらによくなり、お互いの授業参観することで、さらにワンランク上の授業をめざそうとする意識が高まってきた。

・発展期の研修を通して、教科や教育問題についての認識が高まり、学校運営の難しさなども知ることができた。授業を行うことだけでなく、授業を見る目も養うことができ自らの授業に生かすことができた。リーダーとしての使命感や模範意識の向上につながり、学校経営への参画意識の高まりにつながっている。

・充実期の研修の中で、主任としての意識が高まり学校教育目標の達成を意識して学校全体の取り組みに意欲的になっている。また、ベテラン層のマンネリ感をなくし、成長期の層などと一緒に活動することにより、新しい技術の獲得や自分に足りない点を振り返る場となっている。

2 課題

・市原市内の各学校で行っている研修が教職員の資質向上につながっていることは事実であるが、業務改善に伴う働き方改革の中、研修の時間の確保が難しい。

・今後、教員の世代交代が進行し、成長期である5年経験以下でも学年主任や学校の中核として学校運営に関わっていかなくてはならない。成長期のうちから学校経営への参画を促す研修が急務である。

IV 提言

1 学校規模と職員構成などの学校の実情に応じて、校長はマネジメントしていく必要がある。

2 限られた時間の中で研修を進めていかなくてはならない。働き方改革を進めながら新たな時間を作り出すために、大胆なカリキュラムマネジメントが求められる。